

Mizuho Daily Market Report

2023/10/31

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	149.52	149.10	▲0.56	▲0.61
EUR	1.0555	1.0615	+0.0050	▲0.0055
AUD	0.6356	0.6374	+0.0039	+0.0038
SGD	1.3675	1.3643	▲0.0055	▲0.0025
CNY	7.3183	7.3110	▲0.0064	+0.0020
MYR	4.7635	4.7635	▲0.0147	▲0.0308
THB	36.04	35.96	▲0.25	▲0.55
IDR	15901	15890	▲50	▲45
PHP	56.87	56.96	+0.00	+0.13
INR	83.26	83.25	+0.00	+0.06
VND	24567	24567	▲5	▲6

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.894%	+6.0 bp	+4.4 bp
日本(10年)	0.892%	+1.1 bp	+1.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.822%	▲1.0 bp	▲5.2 bp
オーストラリア(5年)	4.497%	+4.9 bp	+12.3 bp
シンガポール(5年)	3.286%	▲1.6 bp	▲5.9 bp
中国(5年)	2.554%	▲1.3 bp	▲3.9 bp
マレーシア(5年)	3.890%	+0.0 bp	+5.9 bp
タイ(5年)	2.902%	▲6.7 bp	▲11.6 bp
インドネシア(5年)	7.082%	▲2.1 bp	▲11.1 bp
フィリピン(5年)	6.668%	+0.1 bp	+22.8 bp
インド(5年)	7.361%	+1.1 bp	▲1.0 bp
ベトナム(5年)	2.000%	+15.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,928.96	+1.6%	▲0.0%
N225(日本)	30,696.96	▲1.0%	▲1.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,028.32	+0.3%	▲0.3%
ASX(オーストラリア)	3,954.67	+0.5%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,064.29	+0.1%	+0.4%
SSEC(中国)	3,021.55	+0.1%	+2.8%
KLSE(マレーシア)	64,112.65	+0.5%	▲0.7%
SETI(タイ)	6,735.89	▲0.3%	▲0.1%
JKSE(インドネシア)	1,439.20	▲0.2%	+0.1%
PSE(フィリピン)	5,961.99	+0.0%	▲2.1%
SENSEX(インド)	1,395.85	+0.5%	▲0.3%
VNINDEX(ベトナム)	1,042.40	▲1.7%	▲4.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	280.76	▲1.5%	▲0.9%
金	1,996.10	▲0.5%	+1.2%
原油(WTI)	82.31	▲3.8%	▲3.7%
銅	8,068.75	+0.5%	+2.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	149.30	—	151.00
EUR/USD	1.0470	—	1.0700
AUD/USD	0.6250	—	0.6460
USD/SGD	1.3600	—	1.3770
USD/CNY	7.2850	—	7.3380
USD/INR	4.7120	—	4.8380
USD/THB	36.00	—	37.20
USD/IDR	15830	—	15970
USD/PHP	56.50	—	57.00
USD/VND	83.00	—	83.45
USD/VND	24,300	—	24,700

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は149円台後半の水準でオープン。五・十日のドル買い需要もあって東京仲値近辺でじりじりと値を上げるも、為替介入への警戒感や明日にBOJの結果を控えた調整ムードもありその後はじり安の展開。149円台半ば近辺では底堅く推移するも終始上値は重く、149円台半ばの水準で海外時間に渡った。アジア通貨は総じて小幅高。今週は米連邦公開市場委員会(FOMC)や日銀会合、マレーシア中銀会合など中央銀行の政策決定に注目が集まる。マレーシア中銀は11月2日の会合にて政策金利を据え置くと予想されているものの、米金利低下を受けて小幅高となっている。

海外時間のドル円は複数の中銀イベントを今週に控えている事を背景に、ポジション調整の売りから149円台前半まで下落。その後、米金利が上昇する展開をサポートに反発し、149円台後半の水準でNYオープン。NY時間朝方は更に続伸するも、その後一部で報道された「日銀が金利操作を再修正へ、長期金利1%超え柔軟性を検討」との速報を受け、一転円買いが優勢となり、148円台後半まで値を下げる。NY時間午後は円買い一巡となり、149円台前半まで切り返す。その後は明日に発表される日銀金融政策決定会合の結果待ち姿勢が強まり、積極的な取引は見られず、149円台前半でクロス。

【金利】

米債市場はカーブ全体で金利上昇。米10月ダラス連銀製造業指数が市場予想を下回ったほか、日銀がYCCの再修正を議論との観測報道をうけ、米金利に上昇圧力。今週にFOMCを控え、様子見も強く、終盤はもみ合う展開に。

【予想】

本日は日銀会合。YCC再修正となれば一時的に円が買われる展開になるだろうが、今年7月のYCC修正時と同様に円安・ドル高の流れを反転させるには至らないと考える。一方、修正が行われない場合には、年初来高値を更新する展開に警戒したい。

【本日の予定】

(日本) 10月 消費者態度指数、9月 住宅着工戸数、9月 失業率 / 有効求人倍率
(日本) 9月 鉱工業生産(速) / 小売売上高 / 百貨店・スーパー売上高、日銀 展望レポート
(日本) 日銀 金融政策会合、植田日銀総裁会見
(アジア) 10月 中国 製造業PMI / 非製造業PMI
(アジア) 10月 豪 コアロジック住宅価格、9月 インド インフラ産業8業種、9月 インド 財政赤字
(アジア) 9月 シンガポール シンガポール国外居住者預金・残高
(アジア) 9月 タイ 国際収支
(アジア) 9月 フィリピン 銀行貸出動向
(アジア) 9月 豪 民間部門信用
(欧州) 10月 ユーロ圏 CPI(速)
(欧州) 10月 英 ロイス 景気指数
(欧州) 3Q ユーロ圏 GDP
(欧州) 3Q 独 GDP(速)
(欧州) 伊 国債入札(5Y、10Y)
(米国) 10月 コンファレンスレポート 消費者信頼感

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。